

2017.10

愛知版 No.410



\* 今月の花 ピラカンサス



映画ポスター

事件の第三章に着目  
光州に閉じ込められなかつた  
真相、巧みに描く

鑑賞のおすすめ



【その25】

韓国映画  
「タクシー運転手  
(택시운전사)」

2017年

伊藤一郎

(朝鮮文化を知る会)

ある日、ソウルの平凡な父子家庭のタクシー運転手であつた主人公のマンソプは、ドイツ人の記者ピーターに「外出禁止令までに光州に行つて、ソウルに戻つてくる」ことを依頼される。折しも家賃の十万ウォンの支払いに困つていたマンソプは、とつてまたとない提案であった。

徹底した情報統制が図られている韓国でのマンソプは、光州事件の状況について知る由もない。当

年に六九万八千人の観客を動員し、韓国における記録的ヒット作になつた。映画に登場する主人公マンソプ（金砂福）とドイツ人の記者ピーター（日本駐在のドイツ人ジャーナリスト、ウイルゲン・ヒンツベト）はそれぞれ実在した人物である。

映画では、光州のあちらこちらが、撃たれた若者たちの血で染まり、家族を撃たれた女性たちが絶叫している。負傷者を助けようとした学生たち、負傷した仲間を担架で運ぼうとする人々に對して、隊列を組んだ軍隊が容赦のない射撃を加える。白旗を降つて無条件降伏を呼びかける丸腰の若者にさえ軍隊は容赦のない射撃を加える。ほとんど丸腰の市民に對して完全武装の軍隊が一方的な暴力を加える皆殺しの戦場である。

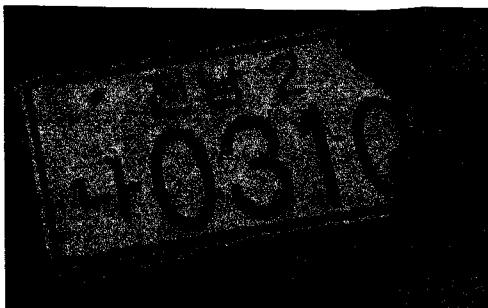
映画は一九七九年の朴正熙大統領暗殺後に発足した全斗煥政権下の一九八〇年五月に起きた韓国南部の都市光州で発生した光州事件（注1）を背景としたノンフィクション映画。

今年八月から公開され、公開初日には、光州でデモが起きていた。韓国文化を知る会（朝鮮文化を知る会）

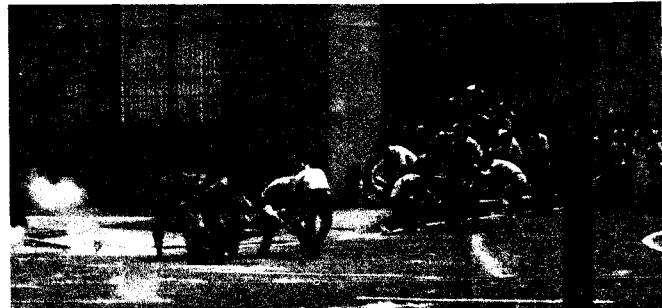
は、光州でデモが起きているという伝聞のみ伝わっていた。

ドイツ人記者との言語的な意思疎通が不十分でありながら、何も知らないままに光州にタクシーを走らせた。政治的無関心であつたマンソプであつたが（マンソプはデモに対し「親のすねかじりの分別ない学生デモで渋滞だ」と嘆く）、光州において凄惨な虐殺の現場に次々と遭遇するにつれ、徐々に政治的意識が覚醒されていく。

映画は、光州のあちらこちらが、撃たれた若者たちの血で染まり、家族を撃たれた女性たちが絶叫している。負傷者を助けようとした学生たち、負傷した仲間を担架で運ぼうとする人々に對して、隊列を組んだ軍隊が容赦のない射撃を加える。白旗を降つて無条件降伏を呼びかける丸腰の若者にさえ軍隊は容赦のない射撃を加える。ほとんどの丸腰の市民に對して完全武装の軍隊が一方的な暴力を加える皆殺しの戦場である。



目立たないように 車のナンバーをソウルナンバーから全羅南道の番号に取り換えるマンソプ



負傷者を救出しようとする人々に、軍の無慈悲な銃弾が浴びせられる。



タクシーが光州からソウルに向かう際の検問で、兵士はタクシーのトランクからソウルのナンバープレートを見つける。偽装のナンバープレートであると知りながら、検問を見逃し、部下に検問通過を命じる兵士。通過をいぶかる部下に再度検問通過を通知する。



光州市内に入るタクシー

この凄惨な韓国軍による鎮圧は、本来であれば軍事政権によって歴史の闇に葬られようとしていたが、宣教師を装つて韓国に入国したドイツ人記者が世界に事件を知らしめた。

光州事件の生々しい映像を撮った画像は、日本経由でドイツに奇跡的に持ち出されたのである。徹底した報道規制のなかで光州事件を報道したドイツ人ジャーナリストのウイルゲン・ヒンツペトには、ソングンホ言論賞なども贈られている。

光州の名誉市民となつたウイルゲン・ヒンツペトは、加害者でもなく被害者でもなかつた第三者でもあつた。映画「タクシー運転手」のように加害者でもなく被害者でもない第三者の視点で描かれた映画は初めてである。

これまで光州事件を扱つてきた映画の数々は、ややもすると観客の生い立ちの背景による感情的な加害者、あるいは被害者の視点に加害者、あるいは被害者の視点により映画を見るため、事件に対する感情が増幅、または矮小化される恐れもあつた。この映画の独自

性は、まさに第三者であるドイツ人によって内外に明らかにされた光州事件を、さらに第三者であるノンボリのタクシー運転手の目を通して描かれていることである。政治的に無関心だったマンソプ

の視点で映画は展開するのであるが、他人事である光州事件がマンソプの視点により徐々に自分化されていく。マンソプの視点で、光州事件に無関心の観客であつてもどんどん映画の中の事件に引き込んでいく手法が巧みである。商業映画としての娛樂性を備えながらも、この映画には強い社会的なメッセージが込められている。

報道によると韓国の文在寅大統領は映画「タクシー運転手」をソウルの映画館で鑑賞した。鑑賞したあと大統領は、光州事件の真相究明を今後の任務とする、と表明し、「光州の民主化運動は常に光州のなかに閉じ込められている」と感じたが、(この映画で)当時の真実が国民のなかに広がるという予感がする」とのコメントを出した(注2)。光州事件は現在、「光州民主化運動」と呼ばれ、事件の犠牲者たちとその遺族たちは民主



軍隊によって制圧された光州市内



娘と向かい合うマンソブ

詩人の金準泰「ああ、光州よ！われらの十字架よ！」という詩には、光州事件当時、外出した夫を気遣つて外出して殺害された妻の悲劇が描かれている。韓国の作曲家尹伊桑は、光州事件の犠牲者追悼のために交響詩「光州よ、永遠に」を作曲し、犠牲者を追悼した（注3）。

筆者が学生時代に訪れた韓国と現在の先進国としての韓国は大きく変わった。地下鉄に乗車しても、以前の人間関係とは大きく変わってしまった。隣の人、周りの人への気遣いよりも個人として自分が生きることに懸命にならなければならぬ社会に人々は生きている。

光州の地では現在も、社会正義を求める市民の精神が脈々と受け継がれている。光州において社会正義を求める人々の声は分断されない。国境を越えて光州、そして韓国全土の市民と日本の市民との連帯が継続することを願つて

それは対照的に、かつて韓国には生きるために、また社会正義のために自らの命を懸けて声を上げ、韓国の民主化を勝ち取ろうとした人々がいた。韓国映画「タクシー運転手」は、個人主義の時代に生きる私たちに波紋を投げかけている。

（注1）一九八〇年五月一八日から七日にかけて韓国の全羅南道の道庁所在地であつた光州市を中心として起きた市民の蜂起。五月一七日の全斗煥に抗議するクーデターと金大中の逮捕を契機に五月一八日にクーデターに抗議する学生デモが発生した。戒厳軍の暴行によるデモは木浦をはじめ全羅南道一帯に拡がり、市民軍による武器庫襲撃後に銃撃戦の末に全羅南道道庁を占領したが、五月二七日に大韓民国政府によって鎮圧された。

（注2）一九八一年八月二三日 座経新聞電子版

（注3）一九八一年、尹伊桑が作曲した交響曲。三部（一部「決起－虐殺」、二部「鎮魂」、三部「再行進」）で構成されおり、尹伊桑の最高傑作と言わされている。一九八一年五月にドイツのケルン放送交響楽団により初演された。初演を韓国で行う尹伊桑の願いは果たされなかつた。一九八一年に高橋悠治指揮東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団により演奏された。光州市立交響楽団は、毎年五月に追悼音楽会などの特別公演を開催している。世界的な指揮者シャルル・デュトワによるモントリオール交響楽団は、定期的に演奏を行つて

#### 【参考文献】

（注1）『韓国社会』第4回（1996）、『世界の政治』

民団愛知創団70周年記念／韓日歴史・文化フォーラム開催50回記念

# 未来志向の韓日関係

韓日歴史・文化フォーラムでは各界の専門家をお招きし、韓半島に関する歴史や文化など様々なテーマで開催してきました。今年の秋には、50回目の節目となる回を迎えるにこゝなり、隣国でありながら関係が悪化する日本と韓国の関係改善に向け、「未来志向の韓日関係」をテーマにシンポジウム形式で開催いたします。

韓日関係は2000年代に入り、韓日共同で開催されたサッカーワールドカップや韓流ブームなどによって良好になりつつありました。しかし、近年は日本の植民地統治による戦後補償、歴史認識、領有権を巡る対立によって急速に悪化しました。こうした、状況を改善していくには何が必要になるのでしょうか？実は、これまでフォーラムで開催してきた様々なテーマの中にもヒントが隠されているではないでしょうか？古代朝鮮から多くの人々が、海を渡って日本に移り住み、朝鮮の文化も伝わってきました。また、今以上に最悪であった関係を改善させるべく遣わされた朝鮮通信使など、過去にも両国の関係は良好と険悪を繰り返されてきたのではないでしょうか？そこで、古代、近世、現代の各専門家をお招きし、それぞれの視点から「未来志向の韓日関係」を考えてみたいと思います。

日 時／11月12日(日) 午後2時

場 所／愛知韓国人会館 5階ホール

名古屋市中村区亀島1-6-2

地下鉄東山線「亀島駅」

③出口より徒歩1分

参加費／1,000円

※資料代と懇親会費を含みます

定 員／150名 ※要予約

主 催／在日本大韓民国民団愛知県地方本部

韓日歴史・文化フォーラム実行委員会

後 援／駐名古屋大韓民国総領事館

在外同胞財団

## ■第一部 基調報告

早稲田大学文学学術院教授 李成市氏

京都造形芸術大学歴史遺産学科客員教授 仲尾宏氏

慶應義塾大学法学部政治学科教授 西野純也氏

## ■第二部 パネルディスカッション

【コーディネーター】

愛知淑徳大学講師 尹大辰氏

【パネリスト】

早稲田大学文学学術院教授 李成市氏

京都造形芸術大学歴史遺産学科客員教授 仲尾宏氏

慶應義塾大学法学部政治学科教授 西野純也氏

日韓市民ネットワーク名古屋統括幹事 後藤和晃氏

## ■第三部 懇親会

4階にて韓国料理をご用意させていただきます。



逆にいえば自由韓國党（旧『セヌリ党』）は言うまでもなく、さらにはキヤスティングボートを握つてゐる国民の党の、党利党略、や、ごり押しのけち、以外には説明する方法がない。

れ以上権利救済が遅れてはいけない。

国会と各政界は、非難の矢が自分たちに向かつていることを直視して、一日もはやく大法院長承認手続きに入ることを強く求める。

二〇一七・九・一九

（韓国・光州）勤労挺身隊ハルモニと共にする市民の会

★参考★その後の情報【編集部】

韓国会大法院長人事案可決

『日経』紙二〇一七・九・二

二【ソウル】鈴木壯太郎】韓国の大法院長は二一日、大法院長（最高裁判所長官）に金命洙（キム・ミヨンス）前春川地方裁判所長を任命する人事への同意案を可決した。

文在寅（ムン・ジエイン）大統領が指名した金氏は人権派の判事として知られる。過去2代の保守党政下で最高裁は日本統治時代に朝鮮半島から動員された徴用工についての判決を見送ってきたが、金氏の就任で裁判への影響を指摘する声もある。

## 記者會見文

### (要旨)

# 一九九円の恥辱、勝訴で報いた 光州地裁＝二次・三次 勤労挺身隊訴訟判決

の幼い年齢で、遠く日本まで連行された行って苛酷な強制労働を強いられ、人権を蹂りんされた。その過程で残念なことに、オ・キレなど六人の少女は命まで失つてしまつた。

過去に、軍艦島（ハシマ）炭鉱を運営した三菱マテリアルは去る二〇一五年七月、訴訟提起もなかつたアメリカ被害者を自ら訪ねて

当然の結果だ。光州（クアンジ）地方法院は日帝強制占領期間勤労挺身隊で員販された被害者と

韓半島不法占領過程で行つた植民犯罪と人権蹂躪に鉄槌を加えた韓国司法主権の勝利だ。

態度はそれこそ反倫理的だつた。一審判決にだけで何と三年六ヶ月経過した。三菱は裁判争点とは関

しかし韓国被害者には、どのよう国被害者とも「和解」したことがある。

今回の判決は三菱側のごり押し  
賠償、命令を下した。

て、明確に勝訴判決で報いる歴史的快挙だ。

部分が療養病院の世話にならなければならぬ残念な状況に置かれ

こうした中、去る九日、日本政  
府官房長官は光州（クアンジュ）

主張がこれ以上通じないということを再度確認したことで、日帝のた。被害者はやつと十三～十五才

てしまつた。決して許せないことだ。

地方法院の三次訴訟勝訴判決に対し、韓日請求権協定によつて、

★参考★その後の情報【編集部】

文在寅（ムン・ジエイン）大統領  
が指名した金氏は人権派の判事として知られる。過去2代の保守政

すでに解決された問題”として從來の立場を再び繰り返した。しかしこれはすでに古い主張である。

日本政府は過去に日帝被害者が提起した文書公開訴訟で、外交的不利益が憂慮される、という理由で、当時韓日会談関連文書の公開を拒否したことがある。何が恐ろしいのか。堂々とすれば隠す理由がどこにあるのか！

韓国政府もまた、その責任から逃れられない。

韓国政府はこの間、個人が日本企業らを相手にした私的な訴訟、

として、「政府が立場を表明するのではなく」として被害者を冷遇してきた。

一方、韓日請求権問題に対しても、態度を変えて冷酷になつて、日本政府代理人と違わない態度を取ってきた。特に、パク・クネ政

府の時期、韓国外交部は日帝強制徴用損害賠償事件と関連して、既存判決に否定的見解を入れる資料だけを選んで作った意見書を大法院に提出したことがある。真に驚くことだ。

（韓国・光州）勤労挺身隊ハルカ。日本外務省、韓国支部、などモニと共にする市民の会

が利敵行為なのか！

強調するが、法治国家においては、国家間条約に対する解釈権限は唯一司法府だけが持つている。経済論理を前面に出して司法府決定を無視して、日本外務省が挙げた声をそのまま写すのは、独立国家の権威を自らあきらめたことになり、司法主権に対する冒明を発表した主張を、そのまま写したものだ。

二〇一七・八・十一

가와고에 토진소로이

朝鮮通信使を世界遺産に!  
この秋は韓日開拓

# 2017年 11月12日 12時半～14時

# 川越唐人揃い

## 第13回復活！唐人揃い—朝鮮通信使 多文化共生・国際交流パレード



後援  
川越市／川越市教育委員会／川越商工会議所／小江戸川越観光協会  
埼玉県／埼玉県教育委員会／埼玉県国際交流協会  
川越永川神社／蓮馨寺／高麗神社  
駐日韓国大使館／韓国文化院／埼玉韓国教育院  
主催 川越唐人揃いパレード実行委員会

★愛知勢（現代の朝鮮通信使・愛知）『フリパン』ほかも、パレード参加します！

世界遺產

# ユネスコの登録 決定に注目

十月下旬、パリで開かれたユネスコの国際諮問委員会（「A」）

は日・韓の民間団体（日本朝鮮通信使縁地連絡協議会、韓国釜山文化財団）が共同申請した「朝鮮通信使に関する記録」の『世界の記憶』（世界記憶遺産）登録問題を審査。

十月末日現在、審査結果及び、ユネスコの事務局長への勧告内容、同事務局長の決定・発表はな

十月七日、名古屋国際センター

# 尾張路の旅 あらわし? 『会』盛り上げ

で開かれたF.A.R.勉強会で堀崎嘉明氏が、『江戸時代の善隣交流と朝鮮通信使尾張路の旅』と題し、同名近著のねらいと要点を話した。さらに阿野、鳴海、起稲葉、清須など尾張路周辺の史料・遺物清風の経過と果頃と語り、「研究者

性にふれた。  
勉強会は、「長い道中、『茶屋』の役割を考えたい」、「木曽川の渡河のさい、『渡り船』方式ではなく、なぜ『舟橋』方式にしたのか?」「ある使行録に記されている『名古屋まで、『音先』の日暮は、『よみ』の活

所藏の中には、名古屋市蓬左文庫  
九点の次には、名古屋市蓬左文庫  
所蔵の次の四点が含まれてゐる。  
▽甲申韓人来聘記事 1763～64 尾  
張藩(松平君山) 1764 ▽朝鮮人  
物旗校轄興之図 1811 猪飼正毅  
世紀、▽朝鮮人御饗応七五三膳部  
図 1811 猪飼正毅 19世紀、▽朝  
鮮國三使口占聯句 尹趾完・李彦綱  
・朴慶後 1682。

# 隣国と交わした誠信にふれてみませんか 江戸時代の朝鮮通信使使行録・和訳本

故・若松實さん渾身の業績三日朝協会愛知県連版

★お問い合わせ/ご注文は、県連事務局へ=No.でお示しを。  
代金は宝物居次第、同封の手振込票で入金してください。

|                |           |           |
|----------------|-----------|-----------|
| 【No. 1】慶 七松・著  | 海 槽 錄     | 1607      |
| 【No. 2】吳 允謙・著  | 東 槽 上 日 錄 | 1617      |
| 【No. 3】李 景稷・著  | 扶 東 桑 槽 錄 | 1617      |
| 【No. 4】姜 弘重・著  | 扶 東 桂 槽 錄 | 1624      |
| 【No. 5】任 級・著   | 丙子日本日記    | 1636      |
| 【No. 6】(著者未詳)  | 癸未東桂日記    | 1643      |
| 【No. 7】洪 禹載・著  | 東 槽 錄     | 1682      |
| 【No. 8】黃 慎・著   | 日本往還日記    | 文祿後<br>役後 |
| 【No. 9】柳 相弼・著  | 東 槽 錄     | 1811      |
| 【No. 10】金 指南・著 | 東 槽 日 錄   | 1682      |
| 【No. 11】南 壺谷・著 | 扶 桑 錄 (上) | 1655      |
| 【No. 12】南 壺谷・著 | 扶 桑 錄 (下) | 1655      |
| 【No. 13】任 守幹・著 | 東 槽 日 記   | 1711      |
| 【No. 14】曹 蘭谷・著 | 奉使日本時間見録  | 1748      |
| 【No. 15】趙 曜・著  | 海 槽 日 記   | 1763      |
| 【No. 16】趙 曜・著  | 海 槽 日 記   | 1763      |
| 【No. 17】趙 曜・著  | 海 槽 日 記   | 1763      |

# 物語・朝鮮事情70年

(16)

霸権主義と主権の二つの潮流

## 第四話／70年戦争～第二次核対決時代

金  
白  
銀

(二) ランドパワー・技術・物  
量戦対思想・坑道戦法

アメリカ軍戦略思想

アメリカの国際政治学者エリオット・コーエンは「アメリカ流の戦争方法」として次の8つを挙げている。

歴史に対する無関心、

技術開発の様式技術志向的な問題解決、

忍耐力の欠如、

文化的差異に対する無理解、

大陸国家的な世界観と海洋国家としての位置付け、

戦略に対する無関心、

大規模な軍事力行使、

政治的忌避、

米軍のランドパワーの中心は技術依存、火力重視、物量での圧倒だ。

Aと呼ばれる。米軍は「軍事技術革命軍」(RM)とされる。第一次クリントン政権での国防長官ウイリアム・ペリーはテクノロ

ジー面での相乗効果の利用を論じた。

A=指揮・統制・通信・コンピュータ・インテリジェンスの分野、

B=ステルス（低被捕捉性）、精密誘導技術、

C=機密情報収集・監視・偵察、

を組み立てた戦争の方法だ。米軍の進化はこれまでの通常戦を時代遅れにしてしまった、と言われる。

RMAの思想家の一人、トフラー

ー（『第三の波』の著者）は情報テクノロジー発展による戦争の特徴について、①大部隊から小規模部隊へ、②現場レベル部隊の自律性の増加、③専門性の高い兵士……等をあげ、民間の情報テクノロジーを軍事に採用することにインパクトを与えた。

ドナルド・ラムズフェルド（二〇〇二年 国防長官）は、①小規模で機動的な部隊、②精密交戦、③戦場認識の増加、とくに④統合の必要性を強調している。

以上のように、米軍の戦争方法

はネットワーク中心の戦いであり、

米軍のベトナムと朝鮮戦争の失敗の結果、米国の軍事戦略家はクラウゼヴィッツの「戦争論」から

最先端情報電子機器をまとった重武装の兵士による。

イラク戦争での戦車戦では、米

軍の戦車は衛星からの情報で、ヘリコプター隊、先端機器をもつ歩

兵によって、「圧倒的な状況認識」を得ることによって戦果をあげて

いる。

米RMA軍は正に「電子ゴリニア」である。

### 米軍流 戰事作戦

米軍の作戦は、敵の重心に関する「五つの環モデル」と言われる。

『五つの環』とは、①敵のリーダーシップ・最高司令部を狙う、②戦争産業と、③インフラと、④国民の破滅と大量殺戮、そして展開中の、⑤敵軍を攻撃する作戦だ。

新聞紙上では『斬首作戦』として報じられるが、まさに①のリーダーシップ・最高司令部への攻撃だ。

米軍のベトナムと朝鮮戦争の失敗の結果、米国の軍事戦略家はクラウゼヴィッツの「戦争論」から

「孫子の兵法」にも理論研究の領域をひろげたという。また、反撃する人民の軍隊の士気の高さと長期化する戦闘のプロセスから学んだものだろう。

### 朝鮮人民軍の軍事思想

『先軍政治と朝鮮半島の平和』（ピヨンヤン外國文出版社）は、：平和とは哀願によって得られるものではない。：現代における戦争とは前線と後方が分かたれないまま進められる立体戦であり、軍隊だけでなく全人民が動員されて戦う全民抗戦である。

『偉大な領導者金正日同志が明らかにする先軍政治の全面的確立に関する主体の理論』（ピヨンヤン社会科学出版社）は、：国民総動員の正規戦、ゲリラ戦、ミサイル戦を展開する。：外間に頼らない兵器生産を継続する体制を構築する。：情報技術を利用する電子戦、宇宙戦を行う、とある。

先軍思想は国家や民族の主体性を重視する主体思想を実現するために軍事を優先する思想である。

『先軍政治』の内容が公にされたのは一九九九年六月十六日の『労働新聞』（朝鮮労働党機関紙）からである。『先軍政治』の内容が公にされたのは一九九九年六月十六日の『労働新聞』（朝鮮労働党機関紙）からである。『先軍政治』の内容が公にされたのは一九九九年六月十六日の『労働新聞』（朝鮮労働党機関紙）からである。

以上にみるように、朝鮮人民軍の軍事思想とは、技術論ではなく、革命思想論である。よつて、人民軍の長所としての思想意識の強さに反映される。

### 日本アナリストによる朝鮮人民軍論

中村好寿の『軍事革命（RMA）』（中公新書）は、「アメリカ軍は情報型軍事革命である」：将来、米国のRMAに敵対しようとする軍隊は、自らの軍隊の長所を確認したうえで、技術大国の弱みを見抜くことになるであろう。：非対称的な軍隊の長所は、①長期戦を戦いたく強制な意志、②兵力数の圧倒的優位、③土着性の強い戦法である。さらに予備軍が創設されて

塙本勝一『北朝鮮・軍と政治』（原書房）は、：朝鮮人民軍の対米戦の長所は、①世界に比類のない思想重視の軍隊であり、②正規戦とゲリラ戦を長期にわたり戦う軍隊、③世界第三位の兵員数を有する、④完成された土着戦法態勢（地下化された飛行場、潜水艦基地、歩兵陣地の坑道化、兵器工場の地下化）を持つ。

中村好寿「特に精銳誘導ミサイルはRMA軍を打撃し、人的・物的損害を与える」。

松井茂『謎の軍事大国北朝鮮』（新潮文庫）は、：これまで第二次朝鮮戦争が勃発しても戦場は朝鮮半島および近海に留まると見られていた。だが：ワシントン、ニューヨークが破壊される危険が生じるに至った。

日本の『新しい戦争とは何か』（川上高司・ミネルヴァ書房）は二〇〇八年の常備兵力を七〇万三千七二名と推定している。

予備軍は、六〇〇万人と言われ、七二名と推定している。

主に地域防衛を担当しており、男性だけでなく女性も予備軍に入っている。

人民軍の兵役制は、志願制であったが、二〇〇三年三月以後は選抜徴兵制が布かれた。

各技能は優秀さを評価され、工

業者（武装警察と国家安全保衛部）は高級中学校（高校）卒業後は義務として軍隊に入る。

【この項、つづく】

いる。企業、農場、大学単位で構成された、労農赤衛隊である。一九七〇年に青年近衛隊が創建された。朝鮮人民軍軍種は、陸軍、海軍、航空及び反航空軍によつて編成されている。（二〇一五年現在）二〇一四年には戦略軍がつくられた。

塙本勝一『北朝鮮・軍と政治』（原書房）は、：朝鮮人民軍の対米戦の長所は、①世界に比類のない思想重視の軍隊であり、②正規戦とゲリラ戦を長期にわたり戦う軍隊、③世界第三位の兵員数を有する、④完成された土着戦法態勢（地下化された飛行場、潜水艦基地、歩兵陣地の坑道化、兵器工場の地下化）を持つ。

中村好寿「特に精銳誘導ミサイルはRMA軍を打撃し、人的・物的損害を与える」。

松井茂『謎の軍事大国北朝鮮』（新潮文庫）は、：これまで第二次朝鮮戦争が勃発しても戦場は朝鮮半島および近海に留まると見られていた。だが：ワシントン、ニューヨークが破壊される危険が生じるに至った。

日本の『新しい戦争とは何か』（川上高司・ミネルヴァ書房）は二〇〇八年の常備兵力を七〇万三千七二名と推定している。

予備軍は、六〇〇万人と言われ、七二名と推定している。

主に地域防衛を担当しており、男性だけでなく女性も予備軍に入っている。

人民軍の兵役制は、志願制であったが、二〇〇三年三月以後は選抜徴兵制が布かれた。

各技能は優秀さを評価され、工

業者（武装警察と国家安全保衛部）は高級中学校（高校）卒業後は義務として軍隊に入る。

【この項、つづく】



# 琉 国 物 語 ⑨

金城 博己（琉球人）

## 那覇市 松尾ワールドストア（前号からのつづき）

ついでに、Aサインバーのシステムなるものを簡単に記しておこう。

Aサインバーには女性の従業員いわゆる専属のホステスといふのはいない、バーに必要なのはマネージャーとボーイそして少なからず魅力的なバンドマン達である。女性達はどこのバーにも縛られず、常に仲間たちと連絡を取り合い、何処の部隊の兵達がいつ休暇で帰つてくるのか、何処のバーに行くのか情報を仕入れて、稼ぎの為に準備をするのである。そこで彼女達は

米兵に一杯一ドルのドリンクをバイミードリンク？などと言いながらおごつてもらい、バーからはそのドリンクごとに交換用の、バスの回数券ほどの大きさのチケットを受け取る。女性達は何処のバーも出入り自由であり、時間も気にする必要もない。チケットは一枚五十セントと交換できるようになつていて、即日には彼女達の都合のよい時に支払われる。たいていは、二十枚、換金すると十ドルもチケットが貯まると、米兵などほつたらかして、現金に交換して家に帰る。そのほつたらかされた米兵はまた別の女の子を求めてドリンクをおごつてまわり、自分が酔いつぶれるか、一文無しになるまでさまようのである、これが

戦争の果ての現実だ。照屋トヨの話がつづく。

「それから、そのネーネー（女の子）宮城さんつていつたかネー。いいかい、よく覚えておきなさいヨ、沖縄の男はみんな呑気なノンカーバーだから、今からは女が頑張つていかんと琉国は成り立つていかんヨ。昔みたいに夫婦でも男と女は別々の財布でやつていくつもりじやないと琉国の経済は難しいサ一。絶対にその事忘れんでヨー」

洋子と英雄は、照屋トヨの迫力に呑まれた様に黙つて領いた。

一九七三年五月一五日

ワールドストアの照屋トヨと会つた一週間後。洋子は、また英雄に誘われて、元琉球政府主席の宜野座政保に会いに行く事になつた。今回は、琉国政府の職員として働いている従兄弟の宇良啓一も一緒である。

宜野座政保は、主席退任後は沖縄全体の電力をまかなつている電力会社の社長をしているので、琉国の抱えている問題の中でも重要な、エネルギーの将来について意見を伺おうというのである。宜野座政保は、痩せ型でやさしそうな顔つきをしてい

る。洋子はヤンバルのオジーによく似てると思ったが、話をし

だすうちに、言葉使いもオジーそつくりの流暢な日本語なので、何か初対面のような気がしない。

宜野座は穏やかな表情で、

「みなさんが進めているメディア村を作るという構想は、素晴らしいと思いますね。どなたの発想でしたのでしょうか。」褒め称える感じで尋ねてきた。

「あれは、琉大の学生が最初に提案してくれたんです。琉国の現状をありのまま世界中に、見て聞いてもらう事によって、琉国は人種や信条が違つても、どの国とも友好関係を保ちたいという方針を理解して信じてもらえるのではないかという事なんですね。琉国政府でもすぐに検討して、それで一週間もたたないうちにきました。」英雄が、その時の様子を話した。

「そうだったのですか。若い人の発想というのは素晴らしいものがありますね。例えば悪いかもしませんが、町中の人が見ている家に空き巣や強盗に入る人はいませんでしょし、また逆に町中から見られている家の人人が、外でも内でも悪い事はできませんでしょ。

軍隊を持たないで国を守る、ということでは、独立国として大切な役割ですね。メディア村の充実と発展を期待します。そして、それに伴い世界中の社会事象や、経済情報の集約は琉国

経済の発展の重要な資源になるでしょう。そうすると、みなさんはその情報を的確に分析して、琉国の発展の為に活用できるように猛勉強しなければなりませんが、よろしくお願ひ致します。」

「はい。もちろんその事に、私達は決して骨身を惜しません。私達の後輩の学生の皆さんもとより、現役で社会生活を送ら

れている方々にも、様々な分野で勉学の道を開いています。今一番に力をいれていますのが語学でして、最終的には世界中の言語を余すことなく習得して貰える様に計画しています。それと並行する形で工業、農業、経済の分野のスペシャリストの養成の為の教室も計画、準備中です。」

英雄は、自信を持つて答えた。

「そうですか、それは頼もしいお話です。

ところで、今日は琉国のエネルギーに関するお話という事をしたが。」

宜野座が本来の話に戻した。

「はい、これまで琉球政府の時代から生産工場の誘致の運動をしていました。

しかし、生産工場の誘致の為の電力供給量やそのコスト、そして水資源などの課題が解決の見通しがつかない為に、好意的に興味を持つてくれました日本企業も、やむを得ず工場設立を断念してきたという経過がありました。琉国としましては、エネルギーの安定供給については、大変重要な課題になっています。」

もとより、英雄にとつては専門外の分野なのだが、そんな事は言つておられない。

すると宜野座は、

「沖縄の電力は全て火力に頼っています。それに、もちろん燃料は全て輸入に頼らなくてはなりません。現在わずかの希望と言えば、石油燃料に変えて石炭燃料の発電所に隨時変えていくかと計画しており、中国からの安い石炭が安定した供給を頼めば、今よりはコストが削減されるかと期待をしているんです。時代に逆流しているのかも知れませんが、石炭発電による

環境汚染の除去の技術が進んでいますので見通しは良いかと思  
います。

しかし、その石炭発電所の計画も当座しのぎというのが本音  
ですから、根本的なところで解決策を考えいかなくては、将  
來の琉国の展望に支障が出てくるかも知れないと心配している  
ところです。あなた方の考え方や計画としては、どうなのでしょ  
うか。」

英雄達は、キビシイ課題をなげかけられた。

「本当に厳しい決断を伴うお話になつてまいりましたが、まず  
中国の石炭についてお話をさせていただきますと、中国は昨年の  
琉国の独立宣言の翌日には、琉国に対して財政援助の申し出を  
してくれました。琉国としましては、金銭的な援助は本当のと  
ころ大変ありがたいのですが、財政援助を受けて他国との友好  
関係のバランスを疑われる事があつてはいけないという意味  
で、丁寧にお断りをいたしました。しかし、他国同様、友好関  
係の継続はお願いいたしますという事で、その関係は現在も続  
いています。ですので、中国側と話し合いを持つという宜野座  
さんのご希望は叶うものと思います。

それと、本日は将来のエネルギー政策につきまして、ご相談  
に乗つて貰うためにお訪ねさせてもらつています。その件につ  
いては、こちらの宇良啓一がお話を頂きたいと思います。」

英雄は、宇良をうながした。宇良啓一は、宜野座にどう説明  
したら良いのかまだ迷つていたが、とにかく落ち着いて話さな  
ければと自分に言い聞かせた。

「実は、これは私の意見ではないので、どう分かりやすくお話を  
すればよいのか困っています。琉球大学に、私の後輩の理科  
系の学生がおりまして、その後輩によりますと、従来の発電方

式というのは、人間が自力で電気を起こせるようになつて百年  
以上も経つのに、その原理はまつたく進歩していないと言ふ  
です。現在アメリカやフランスが原子力による発電所をどんどん  
作っていますが、その原理も同じように何も変わっておらず  
に、ただどんな動力でタービンを回して発電するかの違いだけ  
で、何も進歩はないというのです。それに私では、どうにも  
理解しかねるのですが、その後輩によると地球 자체が地上最大  
の蓄電池であるから、地球から電気をひけば良いのだと言い出  
すもので、私では、ちょっとと手にあまつていてるんです。」

すると、宜野座の表情が変わつて、少し身を乗り出すように  
啓一の方へ寄つた。

「今、おつしやつた事と同じ論理を私は四十年前にも聞いてい  
ます。アメリカ留学中の宿舎の同じ部屋の学生でドイツからの  
留学生でしたが、同じように、タービン式の発電というのは極  
めて原始的であり、根本から発電の原理を追求しなおさなければ、将来的にはエネルギー不足に陥りかねないという事でした。  
その学生さんは、先の大戦でドイツに帰国後、戦死した  
がらそのドイツの友人は、先の大戦でドイツに帰国後、戦死し  
たという事です。戦争は大変有望な人間の命もいとも簡単に  
奪つてしましました。

今、原子力発電という話もありましたが、諸外国はともかく、  
日本では原子力という名の発電所は受け入れられないでしょう  
し、私も賛成はしたくありませんね。

（ところがその頃日本では、アメリカの意をそのまま受け、  
原子力発電を天からの授かりもののごとく、政策として推し進  
めているのである。）

それでその学生は、他には何か言つていませんでしたか。私

もその彼と一度会つてみたいのですね。」宜野座は、興味津々なのを隠そうともせず言つた。

慌ててしまつたのは、啓一達の方である。

「宜野座さん、申し訳ありません。私の説明が足りませんでした。その琉大の後輩は、彼、いや男性ではなく、女生徒なんですね。」

「エツ、女生徒ですか、それにしては大胆な発想をされる女性ですね。」

「宜野座までが驚いた様子である。洋子は、たまりかねて、宜野座さん。沖縄のオーナは、オトコにひけを取つたりしませんよ。」

昔から沖縄をずっと支えてきて、そして戦後も沖縄のドル収入の大部分を稼ぎ出したのは、女たちだったと思ひますよ。それも大変な思いをして、沖縄の経済を支え続けたのも女達だったはずじゃないですか。」

洋子は言い終えてから、シマツタ！と思つたが、もう口から出たことは取り返しがつかない。

「宮城さん、これは面白ありません。女生徒と知つて驚いたのは事実ですが、決して沖縄の女性を下に見ている訳ではありません。どうか誤解をしないでください。

でも、その女生徒が大した考えの持ち主だというのは、本音なんです。それで、宇良さんは、私にどうして欲しいという事なんでしょうか。」

興味深げな宜野座の目が、さらに優しく問いかける。

「はい。ご相談というより、お願ひという事になるのだと思いまが、宜野座さんの電力会社の技術者の方たちと学生を交えて、合同の電力開発の研究チームを作つて頂いて、琉国の工学

ルギー問題に取り組んでもらえないでしょうか。」

宇良は深々と頭を下げ続けた。その隣で、洋子は先ほどの事で恥ずかしさもあり、啓一が頭をあんなにまで下げているのを見て、目のやり場に困つてしまつた。

「宇良さん、そんなに頭を下げるのはおやめください。私は、もう見ての通りに年を取りました。いろいろな研究、開発の必要性は充分に分かっているつもりでも、その気力を保つ事が難しくなつていまつす。が、やつとその研究、開発のきっかけを作つてくれる方、それも大変お若い方が出て来てくれた事は嬉しく思います。」

私どもで協力できる事があるのなら、もちろん喜んでお手伝いさせていただきます。」

その日をスタートにして、琉国は二十年余にわたり、研究開発の苦労を背負つて行く事になるが、二十数年後には世界中が驚きと賞賛を送つてくれる研究成果が生まれるのである。

しかし、その二十数年間の技術者と研究者の苦悩は言葉に表せないものがあると共に、若くして堂々と自分の主張を譲らなかつた、その女生徒（伊波琴美は国費試験に合格したが琉大に残つた）の才能を何と言つて褒め称えればよいのか分からぬ。その研究開発の経過は、物語の進み具合にあわせて報告していく事になるでしょう。

（つづく）

★タイトル上のカットは、琉球郵便切手（一九四五年から一九七二年五月までの米軍占領時代、琉球で発行されたもの）

